
市民・事業者の主な意見等

目次

○ 市民・事業者の主な意見

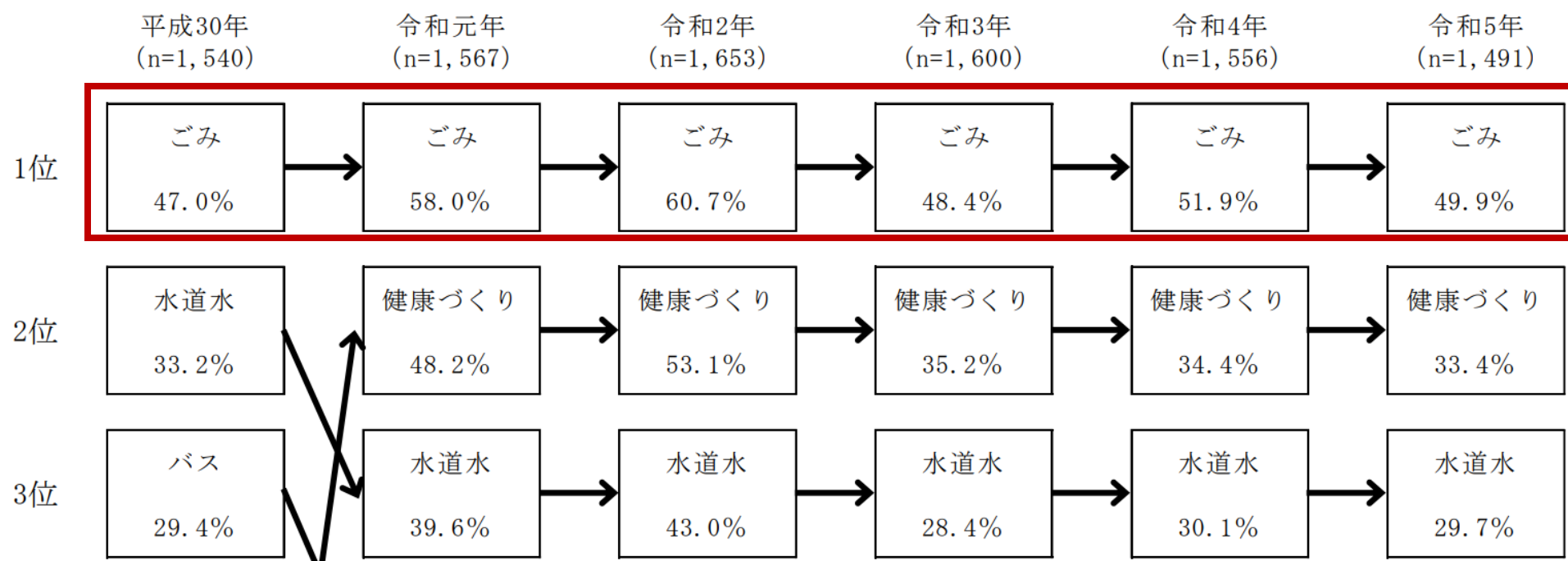
- (1) **かわさき市民アンケート** . . . P 2～
(市政の仕事でよくやっていると思うこと、情報入手方法、取組)
- (2) **川崎市総合計画に関する市民アンケート調査** . . . P 6～
(ごみを減らす取組)
- (3) **川崎市環境基本計画改定に関するアンケート調査** . . . P 10～
(脱炭素化や資源型社会への考え方、施策の重要項目、取組の重要性、環境配慮行動、市民参加、情報発信、支援)
- (4) **環境に関する市民・事業者の意識調査** . . . P 23～
(取組の優先度、市が行う取組の改善傾向、環境問題の責任、環境配慮行動、2050年の将来像)
- (5) **市内の高校生のアンケート** . . . P 31～
(関心、ごみ減量の取組状況、行動変容アイデア、2050年の将来像)
- (6) **かわさき環境フォーラム「みんなで描く2050年の未来」** . . . P 32～
(2050年の将来像)
- (7) **川崎市ごみゼロカフェ ワークショップ** . . . P 34～
(分別で迷うもの、プラ削減・食ロスの取組、情報発信、海洋プラの取組、行動変容)
- (8) **事業系一般廃棄物の減量化・資源化推進説明会の意見** . . . P 35～
(減量・資源化の取組、課題)

令和5年度かわさき市民アンケート①

<実施概要>

- 1 実施日 令和5年10月～12月
- 2 対象者 住民基本台帳からの層化無作為抽出
- 3 回答数 1,491 件

○市政の仕事でよくやっていると思うこと ▼全35項目中、**1位**（平成18年度調査開始以来）



出典：令和5(2023)年度
かわさき市民アンケート概要版

令和5年度かわさき市民アンケート②

あなたが、ごみの分別など、次のような情報を知りたいと考えたとき、どのような方法で入手しますか（または、入手しようと思いますか）。
▼情報の入手先は市ホームページ、市政だよりの順に高い

(n=1,491)

(%)

	市政だより（紙のもの）	市政だより（ウェブサイトのもの）	公共施設等で配布しているチラシやパンフレットなどの印刷物	市ホームページ	かわさきアプリ（ごみ分別アプリ、防災イベントアプリなど）	市公式のTwitterやLINEなどのSNS、市公式YouTube	市AIチャットボット	電話や窓口への問い合わせ	無回答
ごみの分別方法に関する情報	22.7	3.2	14.4	40.4	10.8	0.3	0.1	6.5	1.6
災害や感染症などに関する情報	18.0	4.9	4.0	59.9	1.9	4.1	0.1	4.4	2.7
市の政策に関する情報	37.0	3.9	2.5	49.1	0.7	0.7	0.1	2.7	3.3

出典：令和5(2023)年度
かわさき市民アンケート概要版

令和2年度かわさき市民アンケート

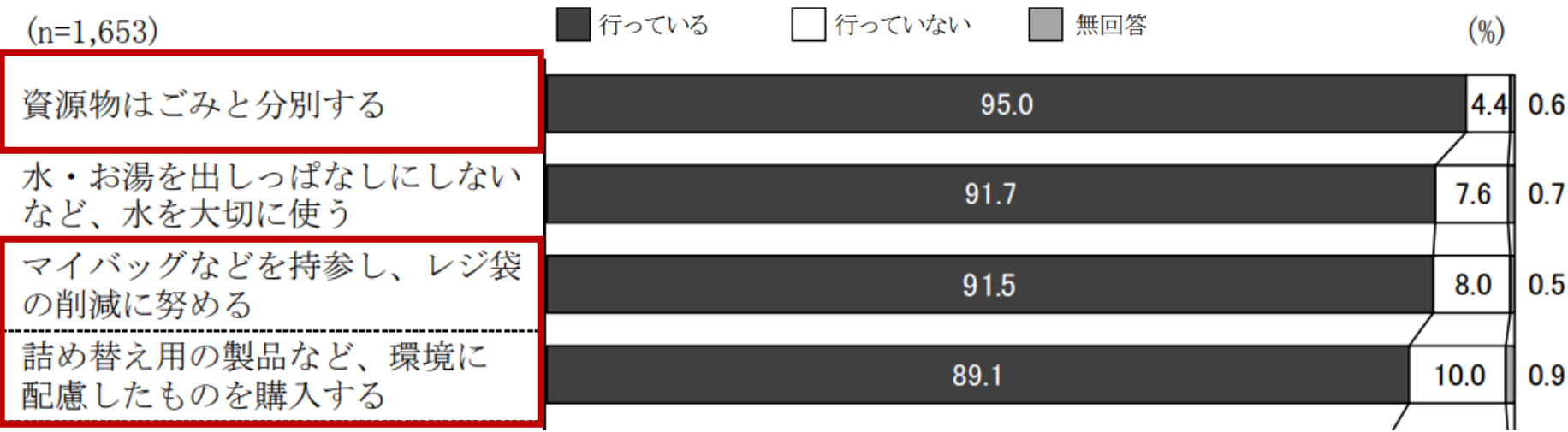
<実施概要>

- 1 実施日 令和2年11月～12月
- 2 対象者 住民基本台帳からの層化二段無作為抽出
- 3 回答数 1,653 件

個人でできる「緩和策」※として、あなたは次の項目について行っていますか。それぞれの項目ごとに1つずつ選んでください。

※地球温暖化をもたらす温室効果ガスを削減するための対策（太陽光発電等再生可能エネルギーの利用、省エネなど）を「緩和策」といいます。

▼緩和策は、資源物と分別、マイバッグ、環境配慮購入が約9割



※全12項目中
上位4項目

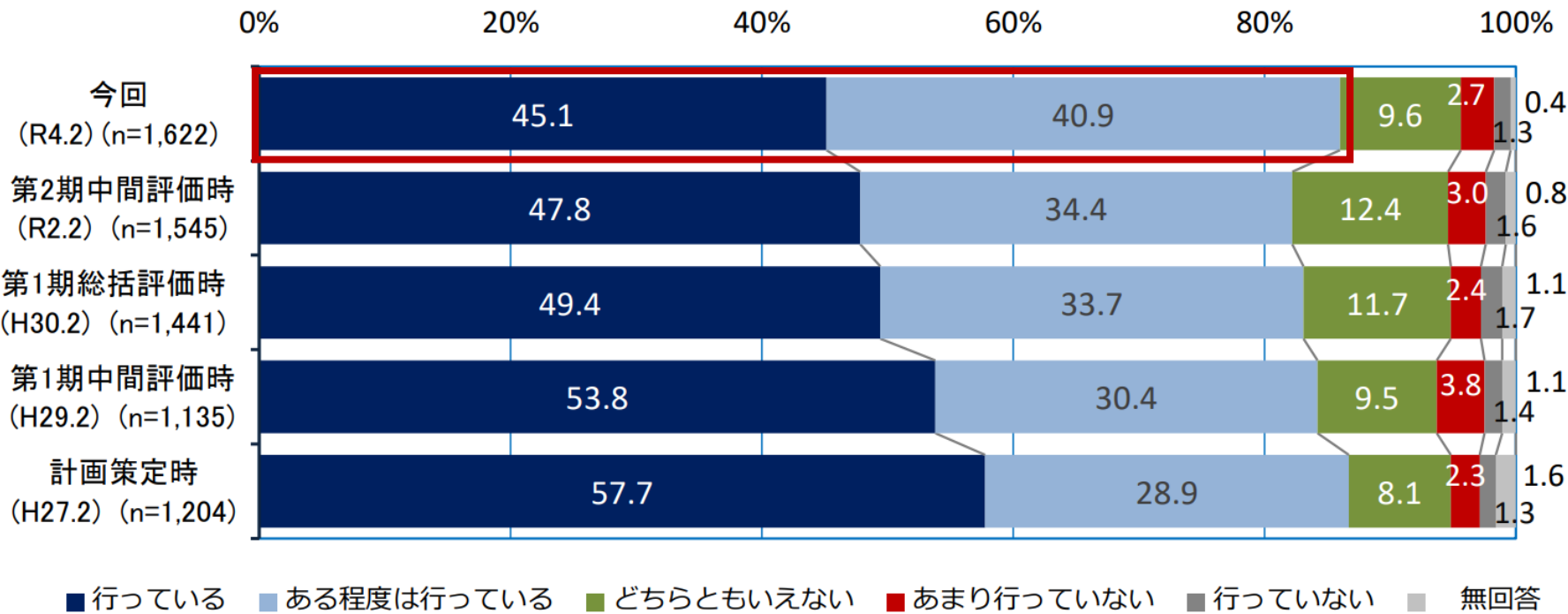
出典：令和5(2023)年度
かわさき市民アンケート概要版

川崎市総合計画に関する市民アンケート調査① ※2年に1回実施

＜実施概要＞

- 1 実施日 令和4年2月～3月
- 2 対象者 川崎市在住の満18歳以上の男女個人 3,000人
- 3 回答数 1,622件

あなたは、ごみの分別や資源のリサイクルなど、ごみを減らす取組を行っていますか。



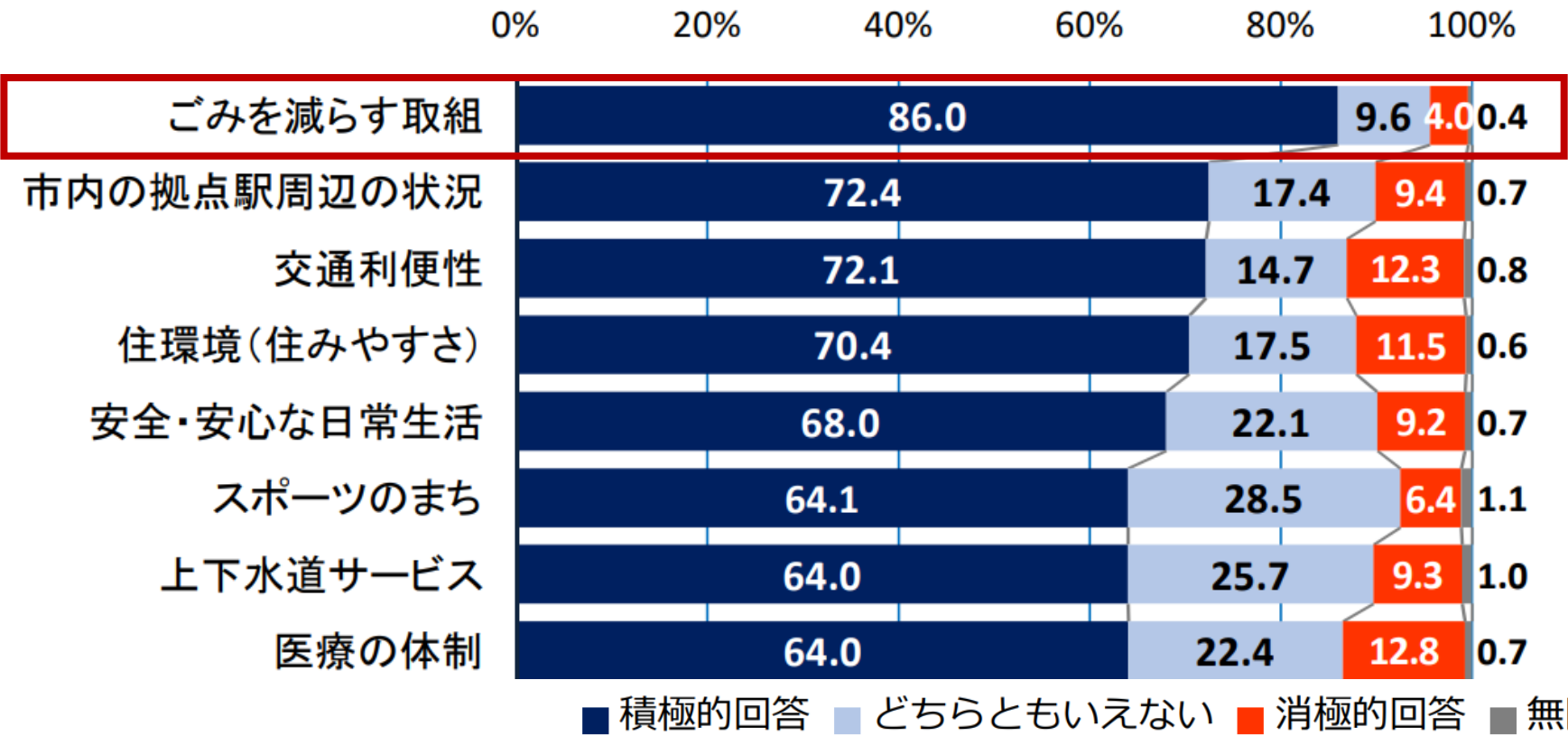
←ごみを減らす取組は8割以上が実施

出典：令和3年度川崎市総合計画に関する市民アンケート調査報告書（R4.5）

川崎市総合計画に関する市民アンケート調査② ※2年に1回実施

▼市民が積極的な取組はごみを減らすで
全29項目中、1位

各設問の積極的・消極的回答の割合（積極的回答の多い順）



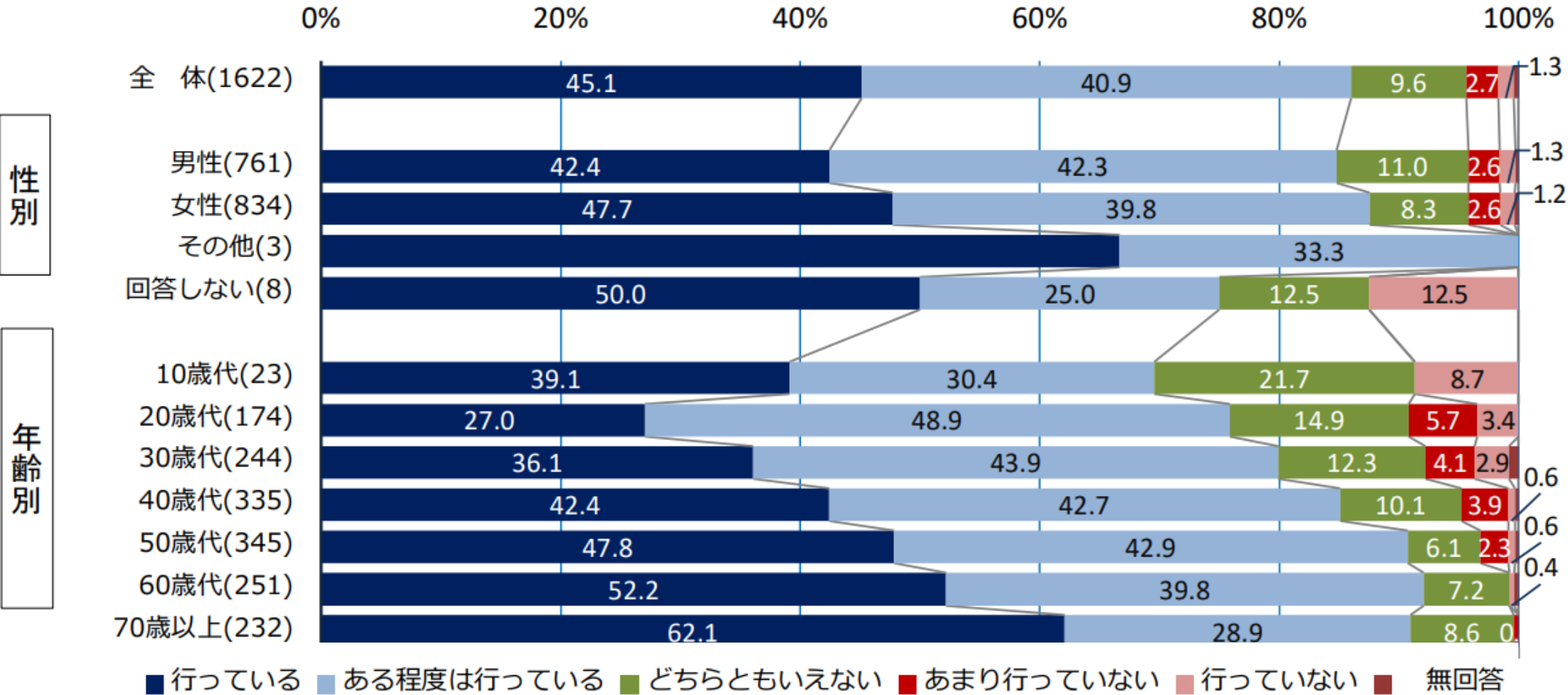
■ 積極的回答 ■ どちらともいえない ■ 消極的回答 ■ 無回答

積極的回答：そう思う、ある程度そう思う 中間的回答：どちらともいえない
消極的回答：あまりそう思わない、思わない

川崎市総合計画に関する市民アンケート調査③ ※ 2年に1回実施

○ごみを減らす取組について（属性別）

▼女性、年齢が高いほど、取り組んでいる



川崎市総合計画に関する市民アンケート調査④ ※2年に1回実施

○ごみを減らす取組に係る主な自由回答

▼ごみを減らす取組の否定的な理由として、
分別の意義や経済的なメリットを感じないとの意見

【行っている】

- ・ しっかり実行している。先日案内のあったプラスチックの分別の収集範囲拡大の件はとても良かった。
- ・ 分別はできる限りしています。市のミックスペーパーには出さずに小学校の資源回収に協力しています。

【ある程度は行っている】

- ・ 完璧ではないが自分のできる範囲で行っている。
- ・ 食料品のプラごみが非常に多いと感じる。減らす努力はしているが、店舗でももっと取り組んでほしい。

【どちらともいえない】

- ・ 分別は行っているが、ごみを減らす取組は特に行っていない。
- ・ 分別はしているがコロナ禍で配達サービスの利用が増え、ダンボールや包装ゴミは増えてしまった。

【あまり行っていない】

- ・ ゴミ収集所の表示が少ない。一人暮らしでゴミの排出量が少ないため分別排出は非合理になると思う。
- ・ 分別がどの程度環境に役立つか疑問で不明のため消極的になってしまう。

【行っていない】

- ・ 時間がなく、そこまで手が回りません。
- ・ お得感がないため、あまり取り組んでいません。

川崎市環境基本計画改定に関するアンケート調査①

1. 市民アンケート調査

<実施概要>

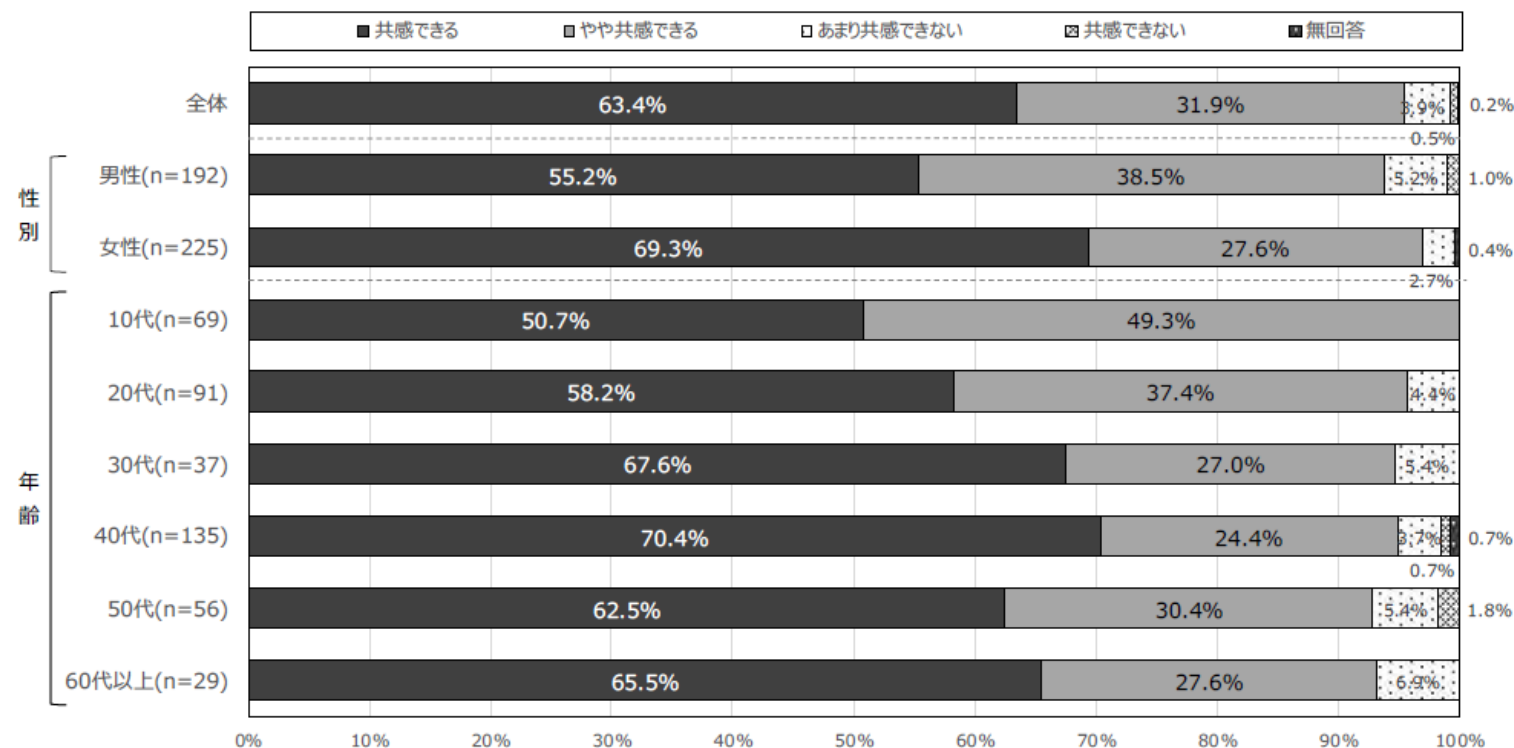
- 1 実施日 令和元年6月～9月
- 2 対象者 市民活動団体に所属する市民や大学生等
- 3 回答数 432件

出典：令和元年度 川崎市環境基本計画
改定に関するアンケート調査結果

川崎市環境基本計画改定に関するアンケート調査②

分野別の柱の方向性の考え方について、どのように考えますか。(〇は1つ) (SA)

方向性：リサイクル（再生利用）はもとより、環境負荷が少ない2 R（リデュース（発生抑制）・リユース（再使用））の取組を基本として、かぎりなくごみをつくらない、循環型社会の構築に向けた取組が進められていること



←女性、年齢が高いほど共感している

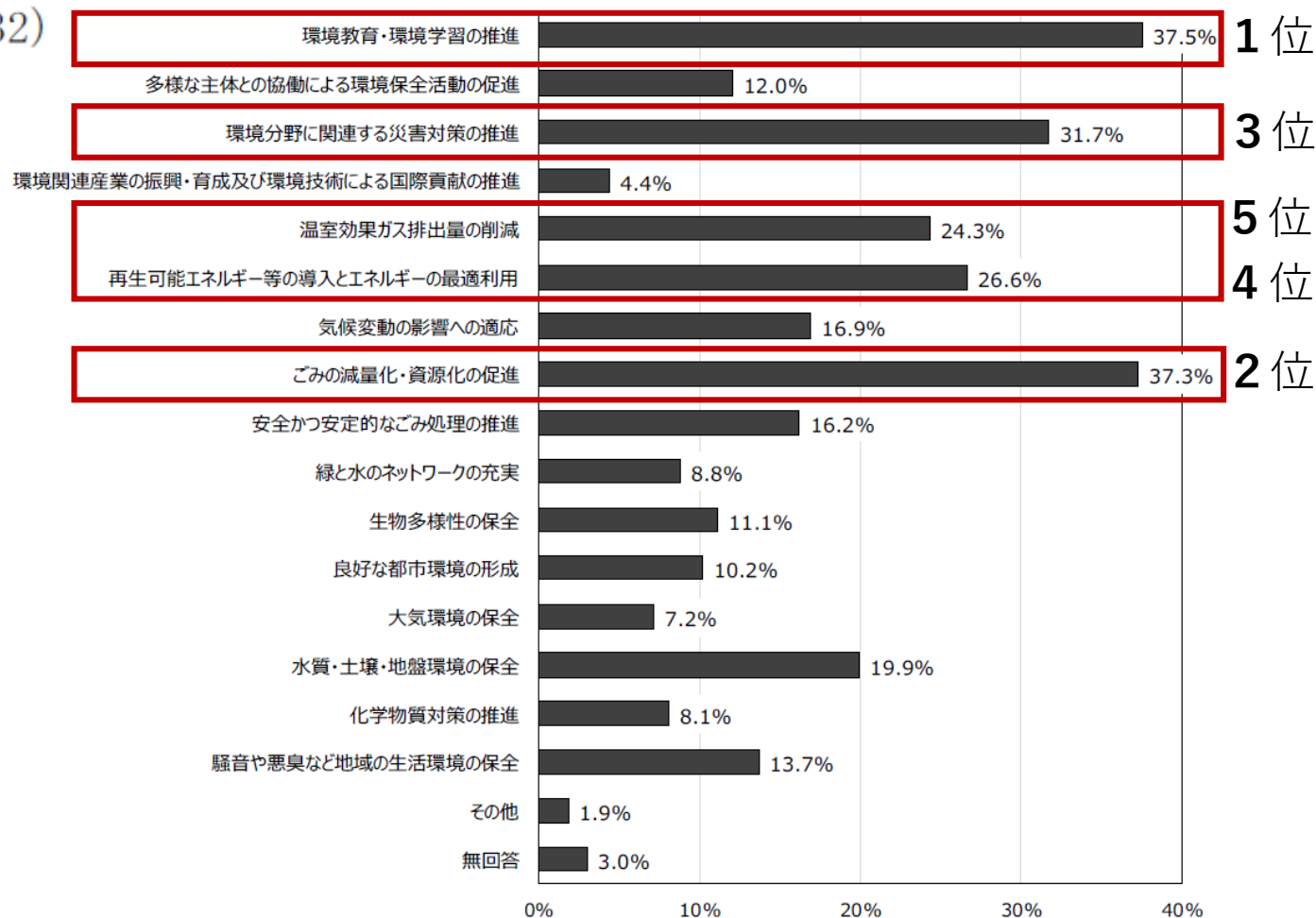
出典：令和元年度 川崎市環境基本計画改定に関するアンケート調査結果

川崎市環境基本計画改定に関するアンケート調査③

今後の市の環境施策として、あなたが重要と考える項目はどれですか。(〇は3つまで)

(MA)

(n=432)



←市民が重要と考える環境施策は、環境教育、ごみの減量化・資源化、災害対策、再エネ、温ガス削減の順で上位5位を占めている

[その他の具体的な内容]

- ・市民の理解・協力を得るための活動
- ・各家庭単位でのゴミの分別
- ・緑や公園が足りないため、緑の保全が必要
- ・川崎市の環境対策の学び
- ・住民にしっかりと理解してもらうこと
- ・ゴミの出し方、回収方法(街の美観)
- ・環境と福祉の関係

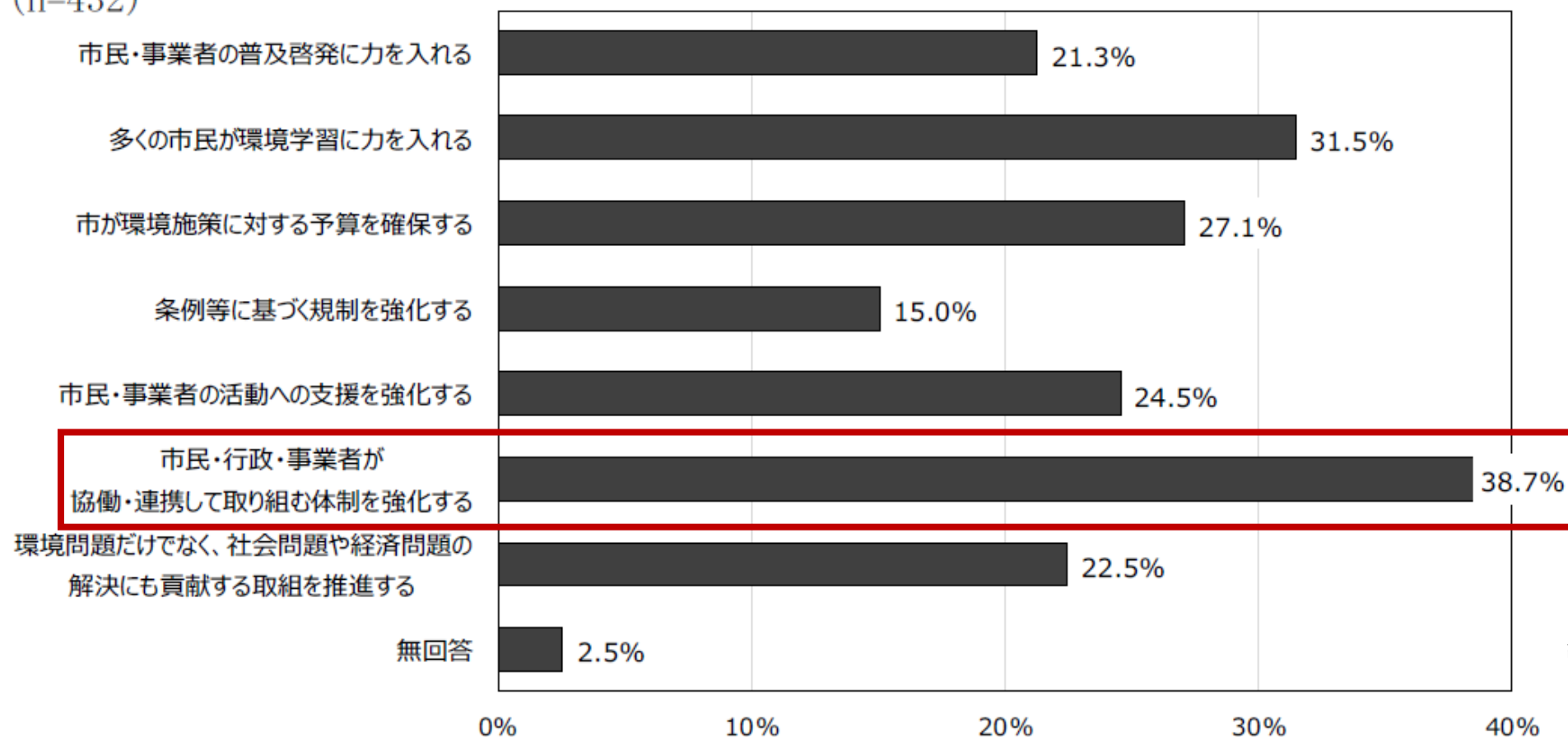
出典：令和元年度 川崎市環境基本計画改定に関するアンケート調査結果

川崎市環境基本計画改定に関するアンケート調査④

環境施策の効果上げるため、あなたはどのような取組が重要であると考えますか。(○は2つまで) (MA)

▼環境施策の効果上げるための重要な取組として、
協働・連携の体制強化が約4割

(n=432)



出典：令和元年度 川崎市環境基本計画
改定に関するアンケート調査結果

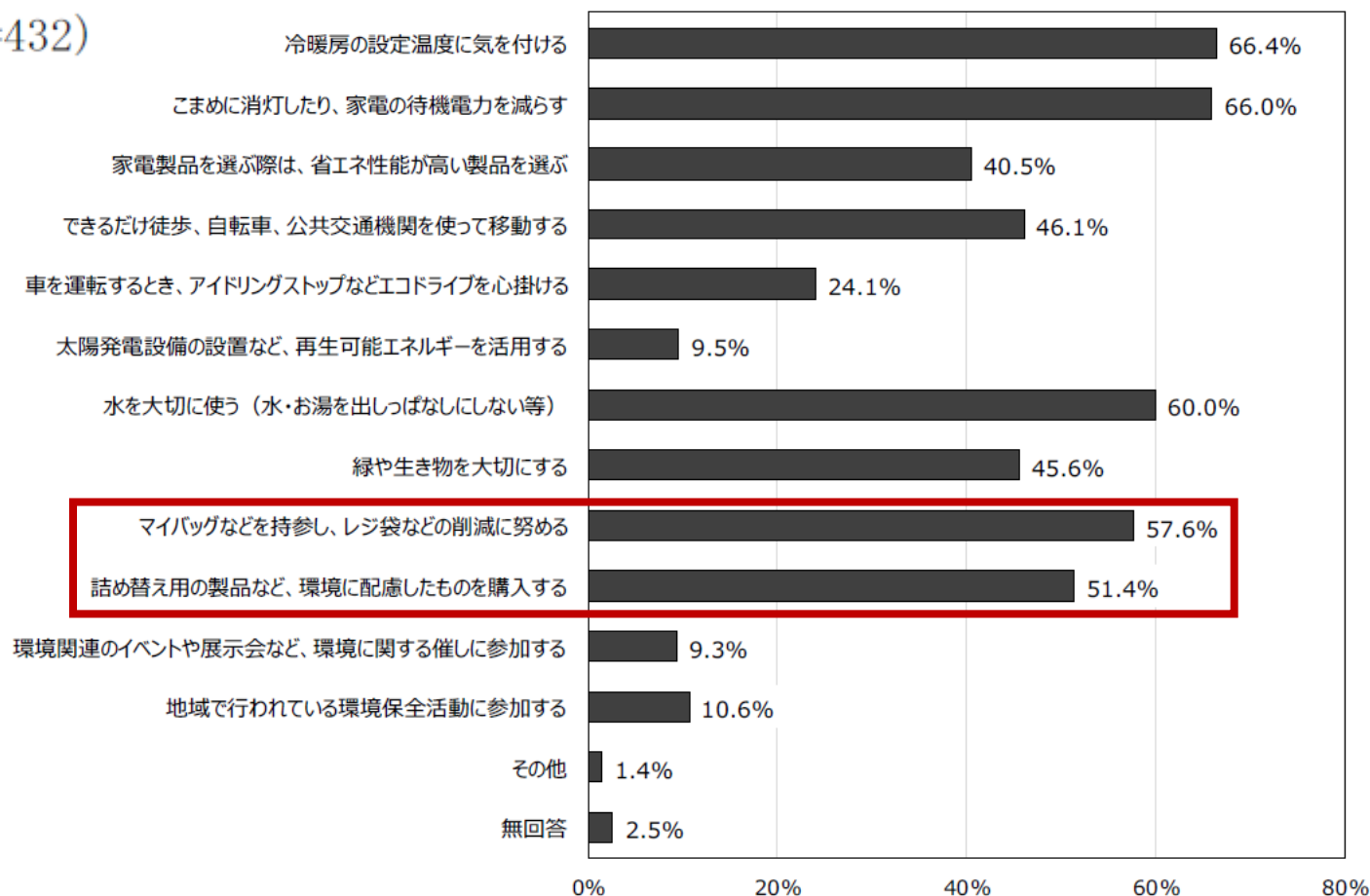
川崎市環境基本計画改定に関するアンケート調査⑤

環境負荷の低減に向け、あなた自身は、どのような環境配慮行動を実行していますか。

(あてはまるもの全てに○) (MA)

▼環境配慮行動の実行として、マイバッグや環境配慮購入は半数超

(n=432)



[その他の具体的な内容]

・ESCO 事業を役所ももっと増やすこと。
これは環境局主導で行うこと。

・ゴミの分別

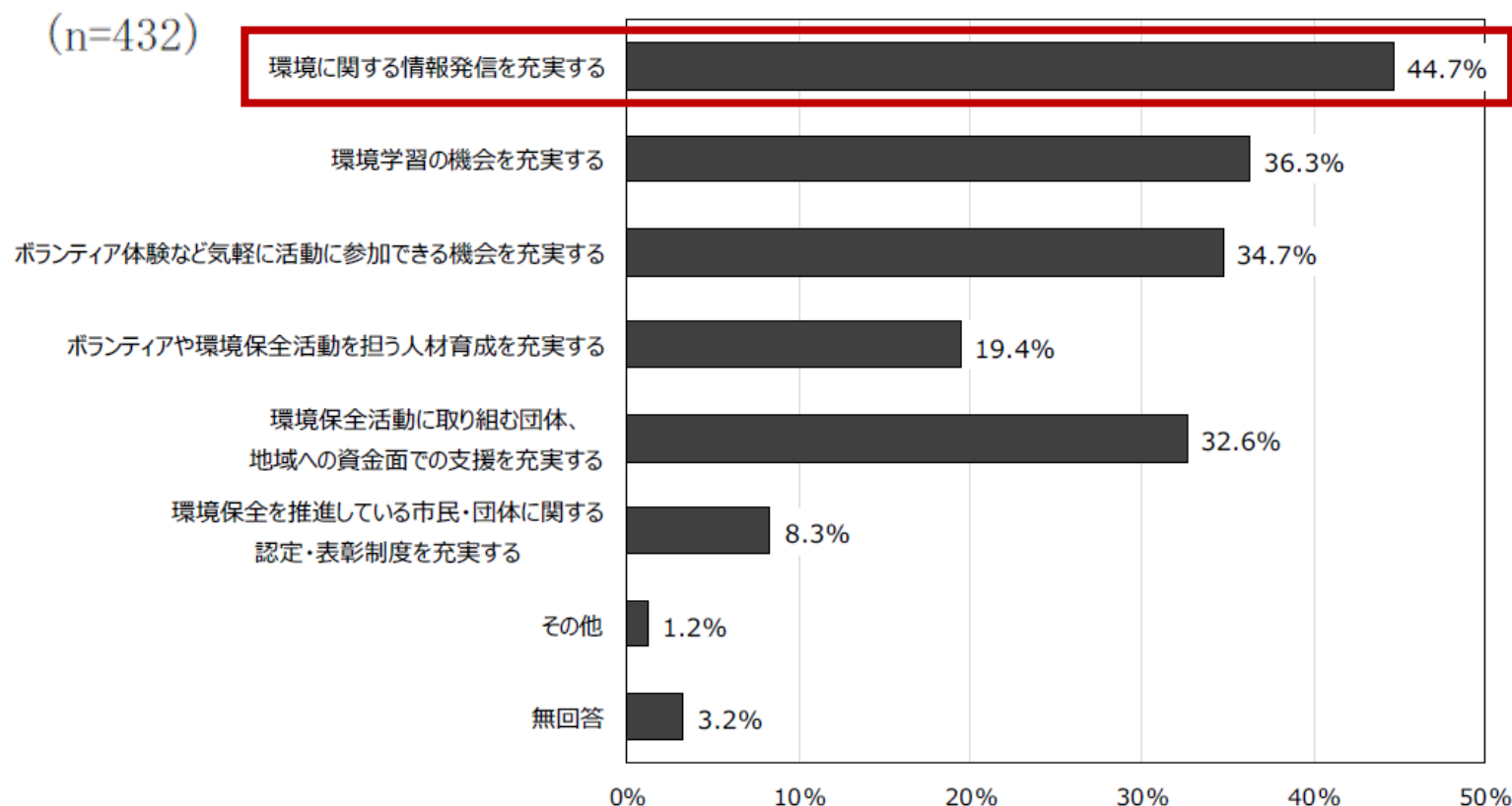
・ハイブリッドカーに乗っている

出典：令和元年度 川崎市環境基本計画
改定に関するアンケート調査結果

川崎市環境基本計画改定に関するアンケート調査⑥

環境保全活動への市民参加を促進するため、あなたはどのような取組が重要だと思いますか。（〇は2つまで）（MA）

▼環境保全活動の重要な取組として、情報発信が約4割



〔その他の具体的な内容〕

- ・小学5年生のこどもエネルギーワークショップはよいと思う。
- ・ゴミの分別が必要。もっと告知してほしい。
- ・嫌でも目に入るような広告作りをして、全く興味関心のない人でも最低限環境に配慮してもらえるようにする。それらをする事によってどのようなメリットがあるのか明確にする。
- ・親子・孫などで参加できる環境体験の機会の創出

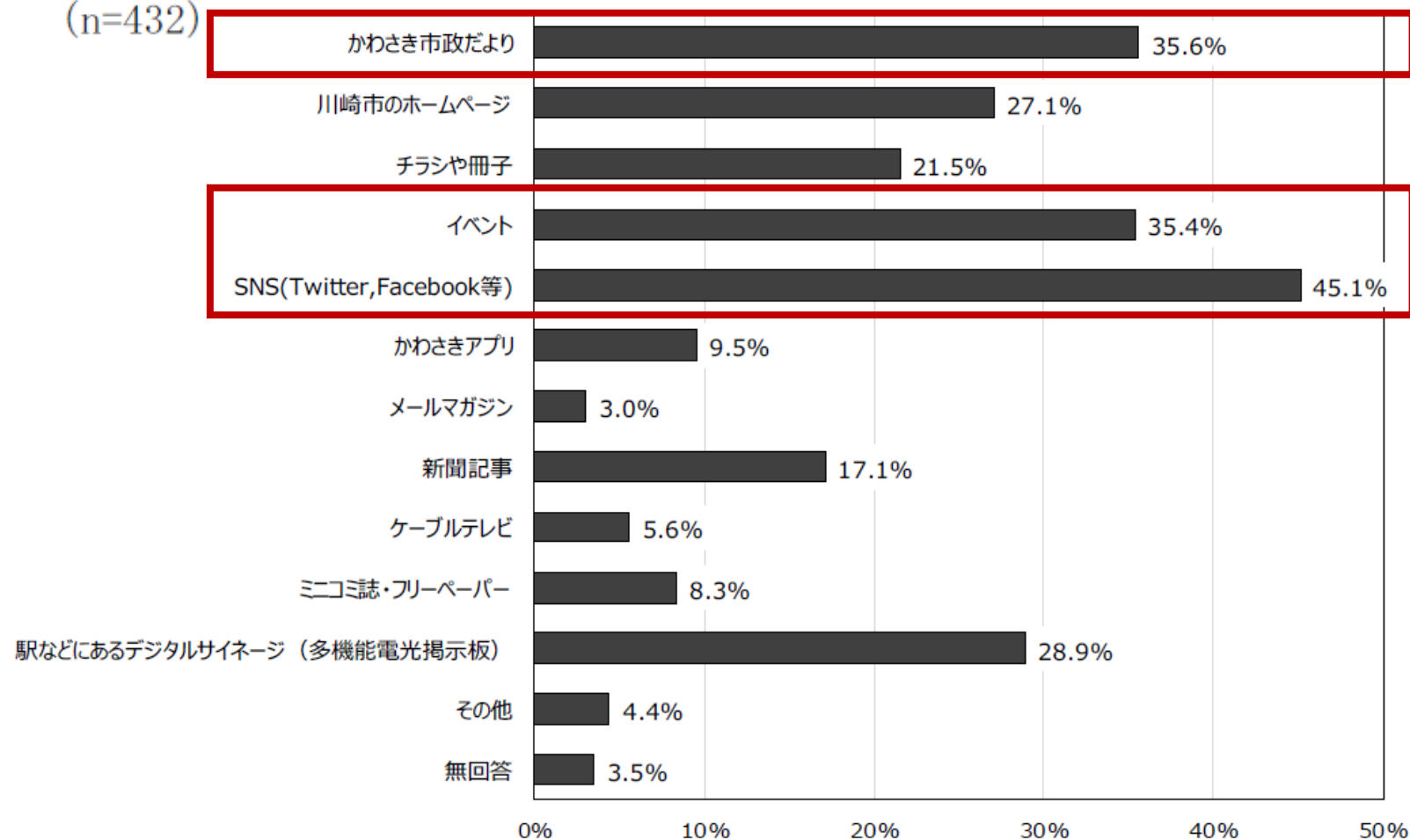
出典：令和元年度 川崎市環境基本計画改定に関するアンケート調査結果

川崎市環境基本計画改定に関するアンケート調査⑦

環境に関する取組の情報を、より効果的に発信するために、どのような手法を充実させることが重要であると考えますか。（〇は3つまで）（MA）

▼効果的な情報発信の手法として、
SNS、市政だより、イベントの順

(n=432)



出典：令和元年度 川崎市環境基本計画
改定に関するアンケート調査結果

川崎市環境基本計画改定に関するアンケート調査⑧

2. 事業所アンケート調査

<実施概要>

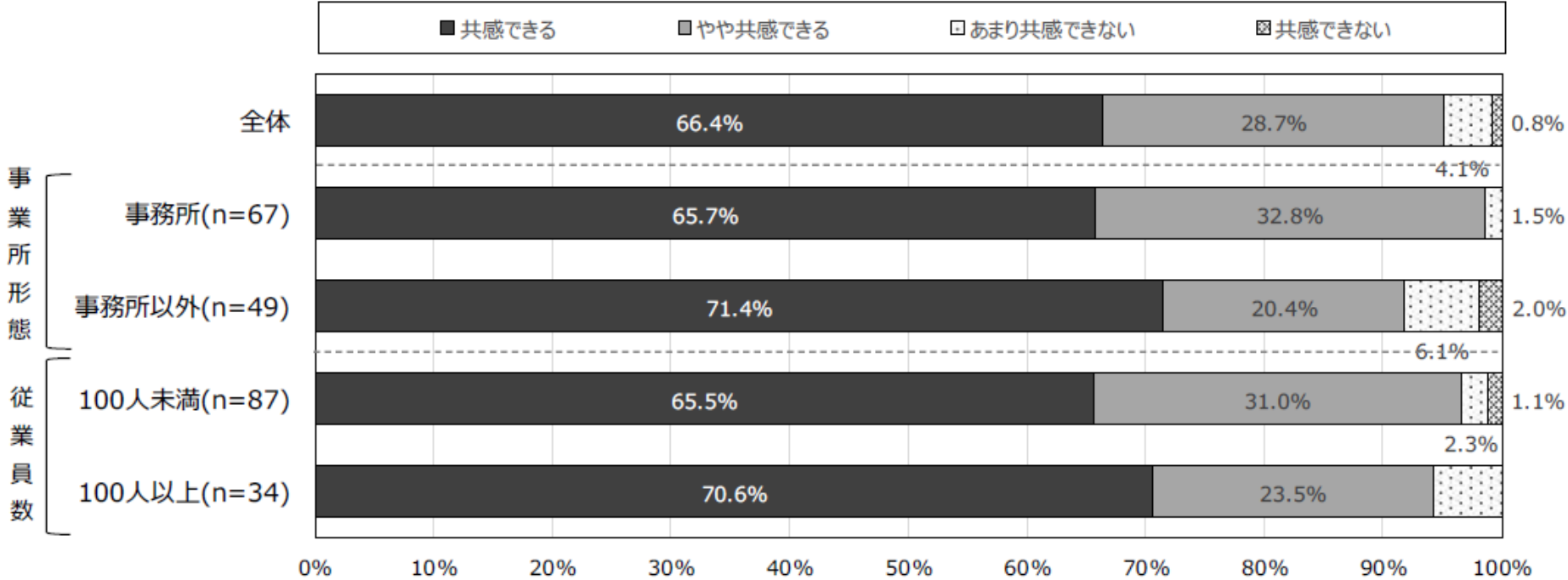
- 1 実施日 令和元年6月～9月
- 2 対象者 市内事業者（事業者団体に所属している会員企業など）
- 3 回答数 122件

出典：令和元年度 川崎市環境基本計画
改定に関するアンケート調査結果

川崎市環境基本計画改定に関するアンケート調査⑨

分野別の柱の方向性の考え方について、どのように考えますか。(〇は1つ) (SA)

方向性：リサイクル（再生利用）はもとより、環境負荷が少ない2 R（リデュース（発生抑制）・リユース（再使用））の取組を基本として、かぎりなくごみをつくらない、循環型社会の構築に向けた取組が進められていること ▼ <事業者> 現計画の方向性に約9割が共感

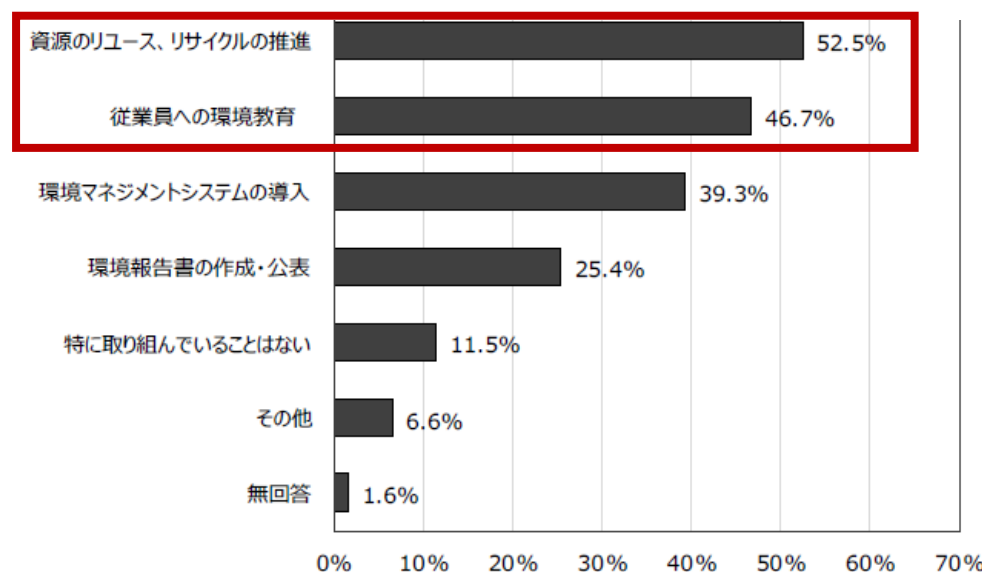
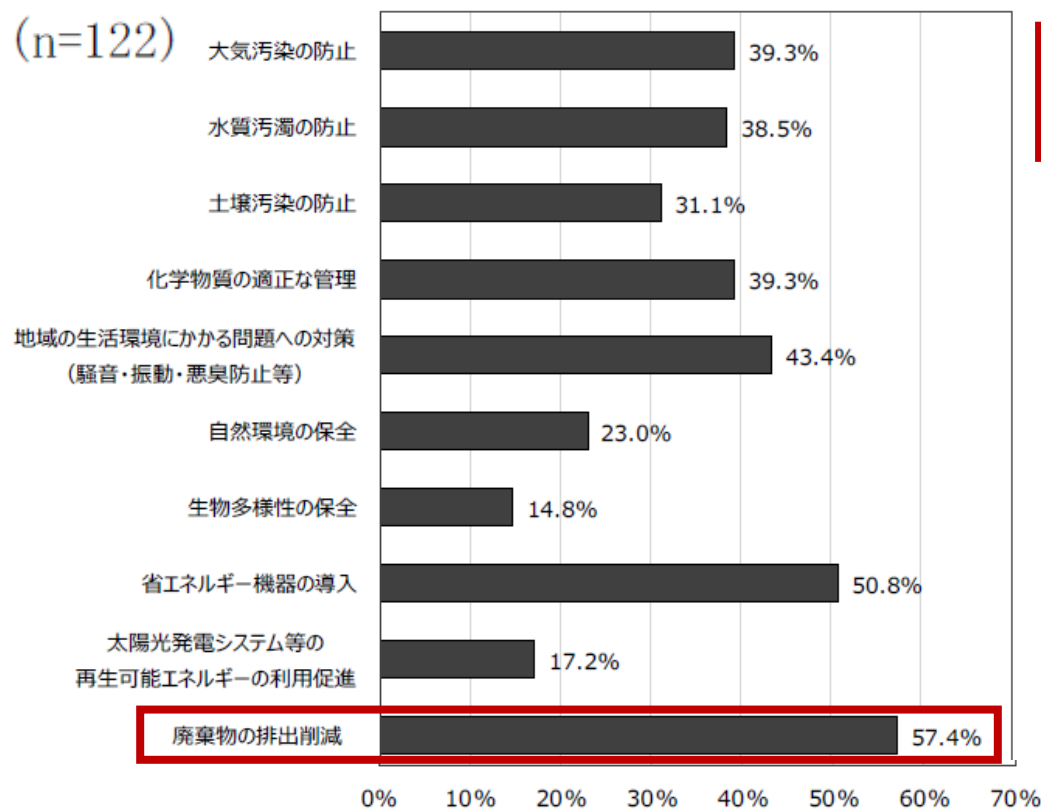


出典：令和元年度 川崎市環境基本計画改定に関するアンケート調査結果

川崎市環境基本計画改定に関するアンケート調査^⑩

貴社の事業活動において、環境管理・環境配慮に関してどのような取組を実施していますか。(〇はいくつでも) (MA)

▼＜事業者＞環境管理や配慮の取組として、
廃棄物排出削減が約6割、リユースリサイクル約5割



出典：令和元年度 川崎市環境基本計画
改定に関するアンケート調査結果

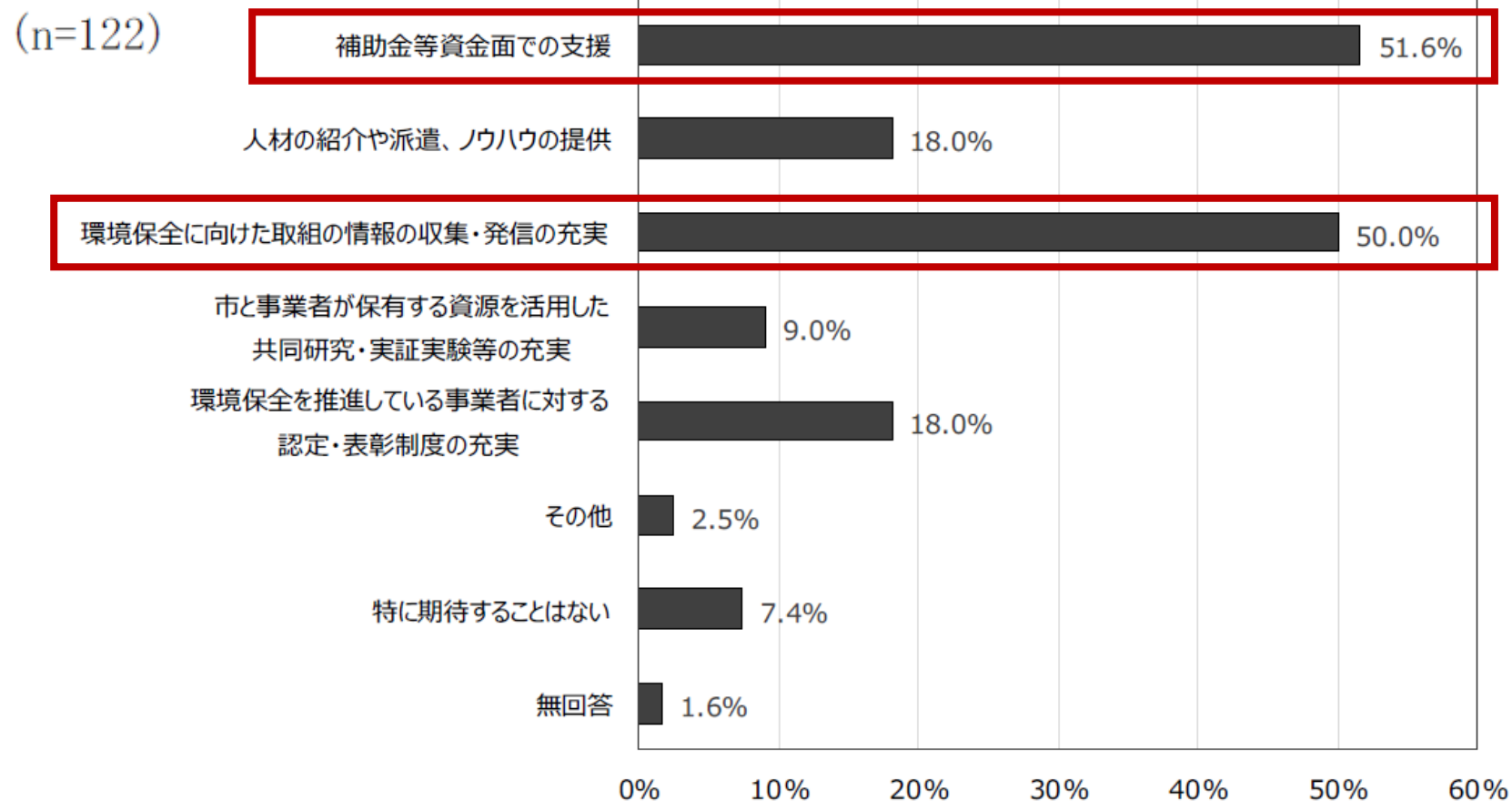
〔その他の具体的な内容〕

- ・ゴミ拾い
- ・エコアクション 21
- ・森林保全活動(湯河原町にて)
- ・グリーンボールプロジェクトに参加している
- ・CO2 削減の取組、エコ活動
- ・弊社では、廃家電品(TV・エアコン・冷蔵庫・洗濯機)を 90%以上リサイクルしている
- ・蓄電システムの製造・販売事業を行っており、事業そのものが地球環境への貢献を目指したものである
- ・省エネルギーかつ防災性を兼ね備えたスマートエネルギーや分散型電源機器、燃料電池の導入および開発

川崎市環境基本計画改定に関するアンケート調査⑪

貴社が今後、本市に期待する環境保全に向けた支援はどのようなものですか。(〇は2つまで) (MA)

▼ <事業者> 本市に期待する環境保全の支援として
資金支援、情報発信は5割超



出典：令和元年度 川崎市環境基本計画
改定に関するアンケート調査結果

川崎市環境基本計画改定に関するアンケート調査⑫

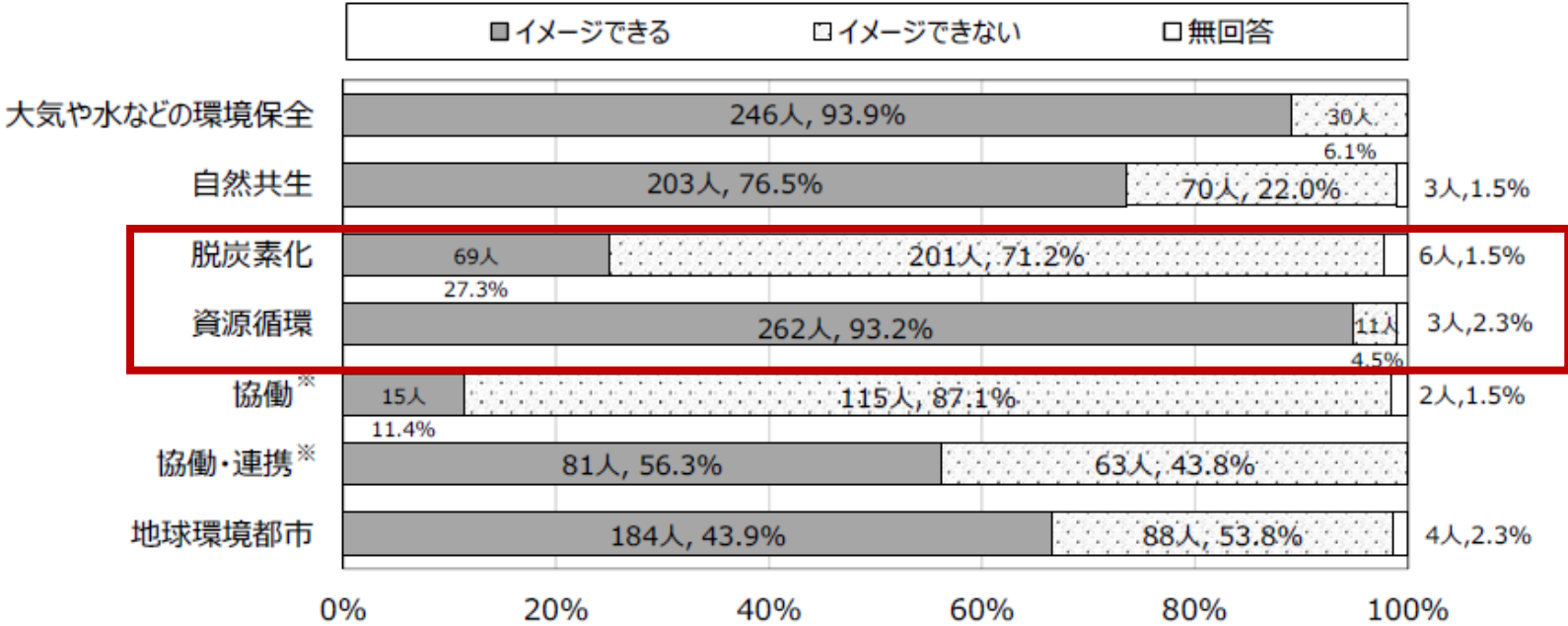
街頭アンケート調査

＜実施概要＞

- 1 実施日 令和元年6月～11月
- 2 対象者 イベント等に参加している市民
- 3 回答数 512件（大人 312 名、こども 200 名）

▼用語の認知度として、
資源循環は 9 割超が認知

次の用語の意味について、どのように感じるか教えてください。

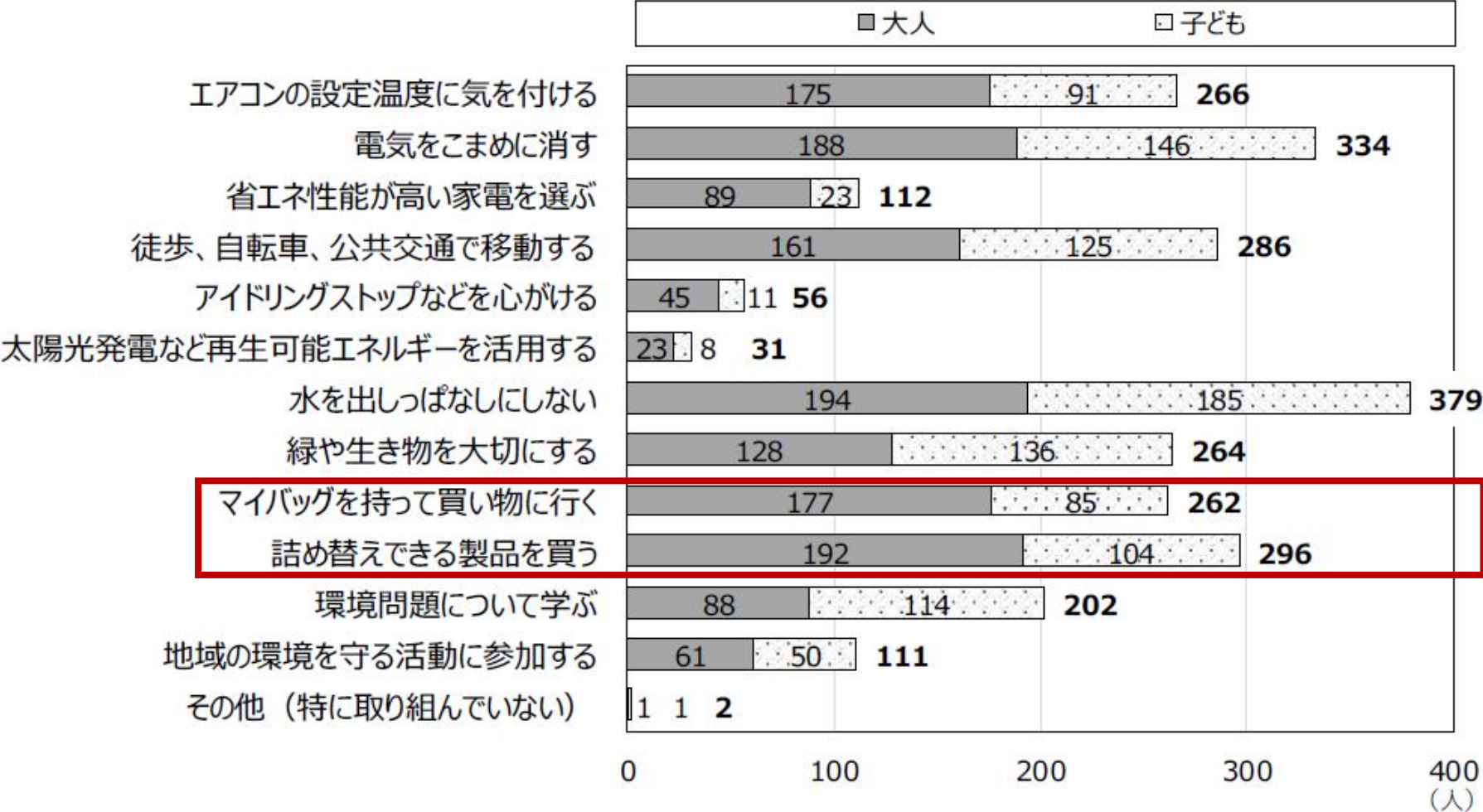


出典：令和元年度 川崎市環境基本計画
改定に関するアンケート調査結果

※「協働」の項目は、11月3日の調査のみ「協働・連携」に変更して実施

川崎市環境基本計画改定に関するアンケート調査⑬

あなたが心がけている環境にやさしい行動を教えてください。 ▼環境配慮行動として、
詰め替え製品購入、マイバッグは高め



出典：令和元年度 川崎市環境基本計画
改定に関するアンケート調査結果

平成30年度 環境に関する市民・事業者の意識調査結果①

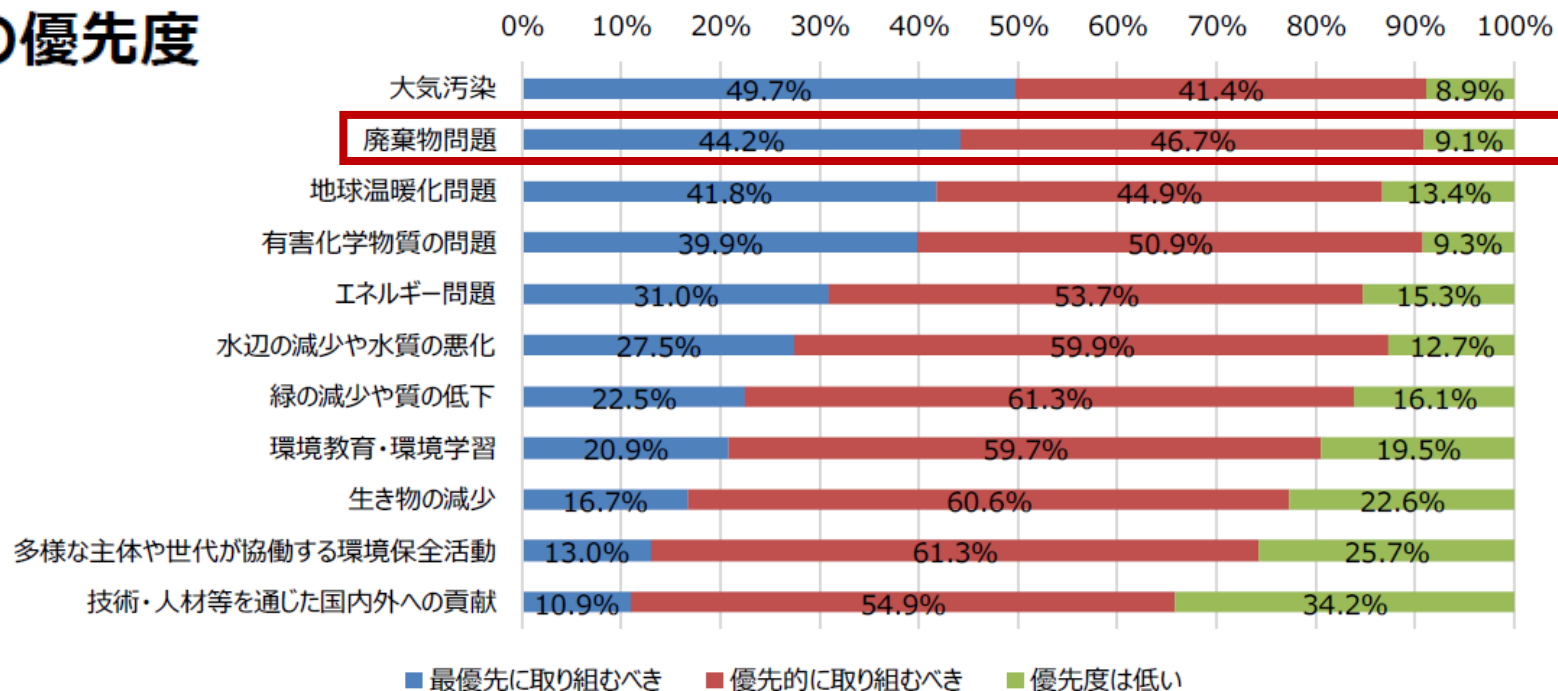
Web アンケート調査

<実施概要>

- 1 実施日 平成30年9月3日～4日
- 2 対象者 川崎市在住の18歳以上の市民
- 3 回答数 1,573 件

▼取組の優先度として
廃棄物問題は2番目の優先、9割超

取組みの優先度



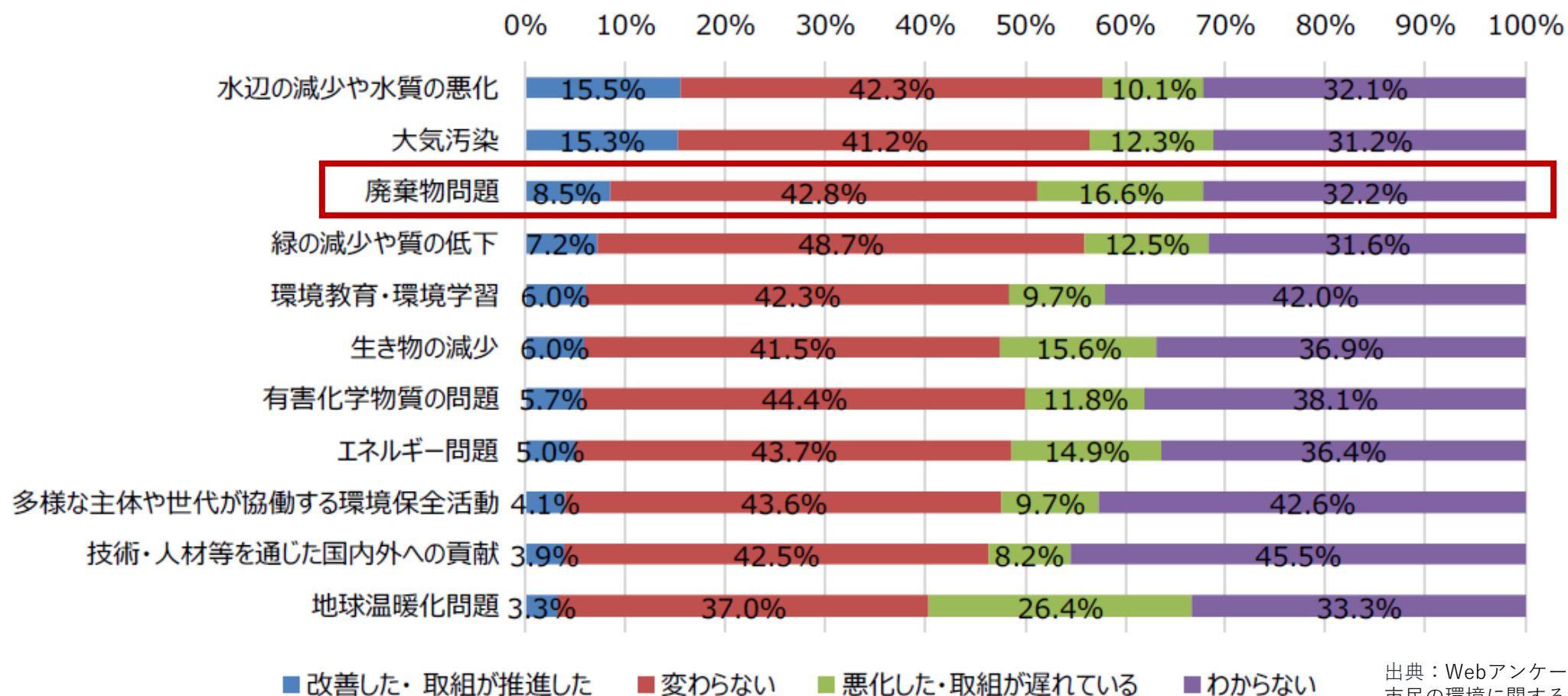
出典：Webアンケート
市民の環境に関する意識調査結果・分析

平成30年度 環境に関する市民・事業者の意識調査結果②

Web アンケート調査

各項目に関する近年の改善傾向・市が行う取組の状況

▼近年の改善傾向と取組状況として、
廃棄物問題は3番目

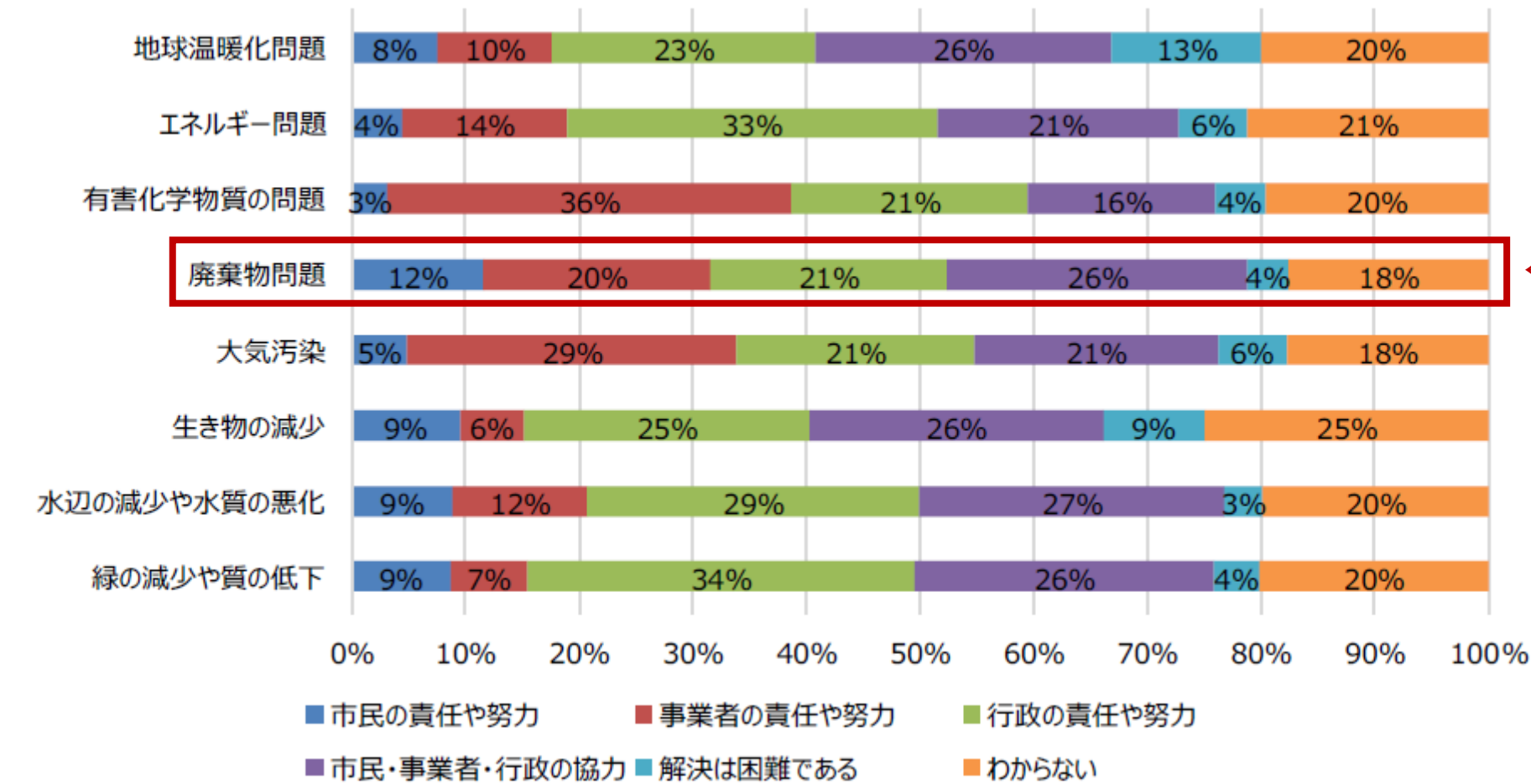


出典：Webアンケート
市民の環境に関する意識調査結果・分析

平成30年度 環境に関する市民・事業者の意識調査結果③

Web アンケート調査

環境問題の解決のために、誰の責任や努力が最も重要か



←廃棄物問題は
1 市民・事業者・行政の協力
2 行政の責任
3 事業者の責任の順に多い

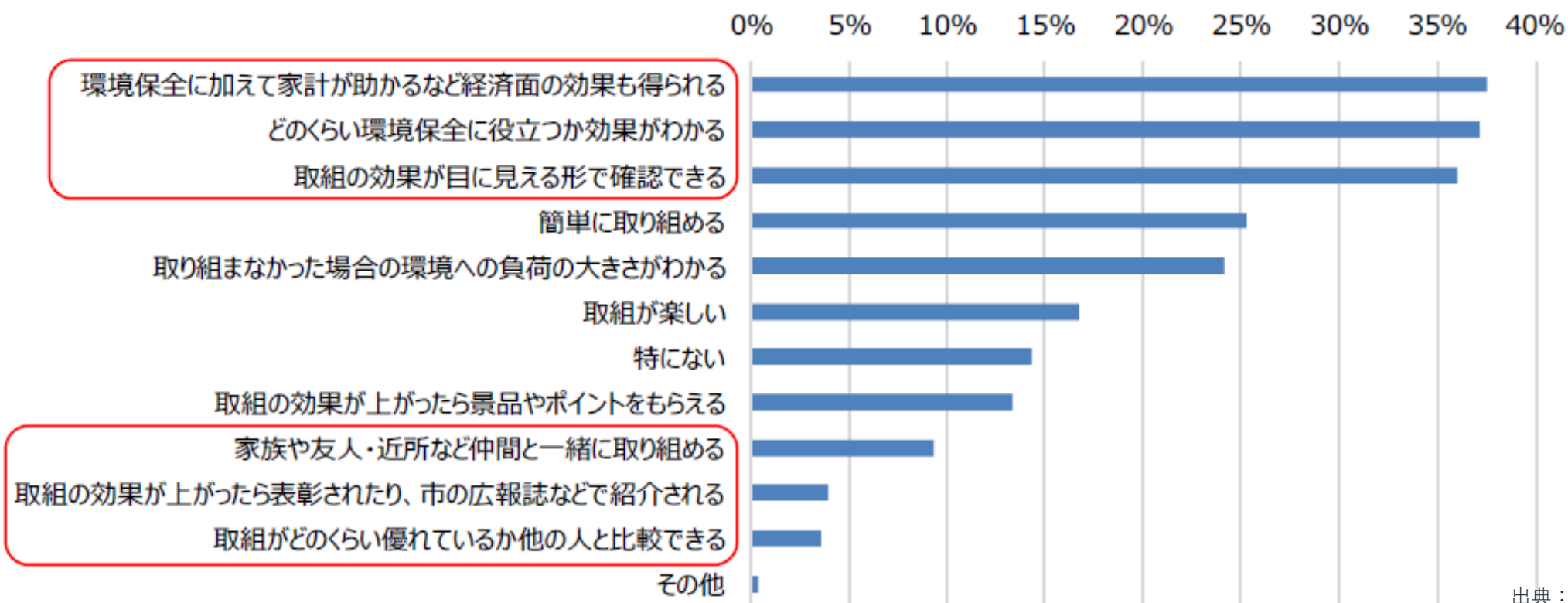
出典：Webアンケート
市民の環境に関する意識調査結果・分析

平成30年度 環境に関する市民・事業者の意識調査結果④

Web アンケート調査

市民が環境に配慮した取組を進める上で重要なこと

▼市民が取組を進めるうえで重要なこととして、
経済効果、保全効果、見える化の順に多い



出典：Webアンケート
市民の環境に関する意識調査結果・分析

※3つまで選択可、n=3488

平成30年度 環境に関する市民・事業者の意識調査結果⑤

ワークショップ等

<実施概要>

- 1 実施日 平成30年12月～平成31年2月
 - 2 対象者 市民、事業者
 - 3 回答数
ごみゼロカフェ20件 【市民・ワークショップ】
地球温暖化防止活動推進員研修会23件 【市民・ワークショップ】

川崎コンビナート環境保安技術研究会13件 【事業者・ワークショップ】
NPO法人 産業・環境創造リエゾンセンター16件 【事業者・ワークショップ】
一般社団法人 神奈川県情報サービス産業協会12件 【事業者・グループインタビュー】
- エネルギー・環境子どもワークショップ117件（小学生106件、大人11件）

平成30年度 環境に関する市民・事業者の意識調査結果⑥

ワークショップ等における主な意見内容

2050 年の川崎市の姿（2050 年の社会に起こりうる変化・課題）

分野	主な意見
資源循環	・ 高齢者の増加によるごみ出し問題やごみ質の変化（おむつの増加など） ・ 資源輸入が困難になる ・ 人口減少によりごみの収集システムの維持が難しくなる ・ 最終処分場が不足する ・ ごみ出しが楽になり、ごみに対する市民の意識が下がる ・ ソーラーパネルのリサイクルやロボットの廃棄など新たなごみ問題が生じる

平成30年度 環境に関する市民・事業者の意識調査結果⑦

ワークショップ等における主な意見内容

めざすべき環境像（方向性）

分野	主な意見
資源循環	・ごみに「意識高い系」川崎市 ・ごみゼロ！！なまち ・廃棄物というコトバが無いまち ・ごみが金になるまち ・ごみになる物を売っていないまち ・ごみは資源！ ・「循環資源」社会の実現 ・プラスチックの使用量が世界一少ないまち ・ごみ収集車が走っていないまち

出典：平成30年度 環境に関する市民・事業者の意識調査結果 概要

平成30年度 環境に関する市民・事業者の意識調査結果⑧

ワークショップ等における主な意見内容

エネルギー・環境子どもワークショップ

分野	主な意見
資源循環	・ 今よりごみの捨てる量が減っている。 ・ ごみが全てリサイクルできる技術。 ・ 僕たちはむだにごみをだしているので、一人くらいならいいと考えるのではなく、一人一人が気をつけないといけないという気持ちの世界にしたい。 ・ 今よりごみが減っていて、快適に暮らせる川崎がいい。 ・ ポイ捨てが×！道にごみが落ちていない！ ・ ごみ処理場の数が減っていてほしい。 ・ ごみがゼロになっていてほしい。

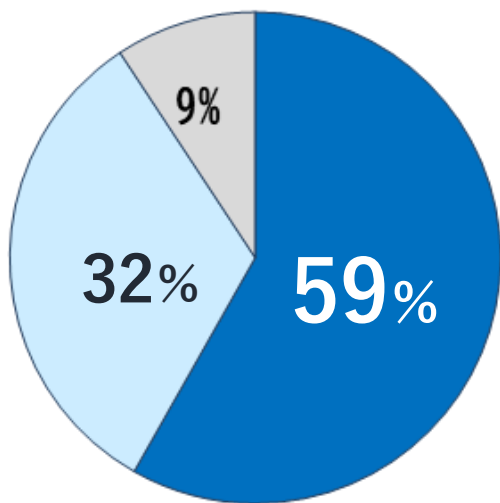
出典：平成30年度 環境に関する市民・事業者の意識調査結果 概要

市内の高校生のアンケート意見

<実施概要>

- 1 実施日 2024年6月
- 2 対象者 市内高校2、3年生
- 3 回答数 297件

ごみ減量の取り組みについて



- 取り組んでいる
- 取り組んでいなかったが、これからは取り組みたい
- 取り組んでいない

■ごみの減量や分別を思わずしたくなるアイデア（一例）

- ごみの分別や減量をしたら商品交換、購入に使えるポイントが貰えるサービス
- ごみを正しく分別し捨てられるようなデザイン等を施したごみ箱の設置
- ごみの現状、危惧される将来についてのポスターやイラスト等での啓発 など

■脱炭素社会を見据えて、2050年にどのようなまちに住みたいですか？（一例）

- ごみという概念がなくなり、すべて再利用している世界
- プラスチックが減って、リサイクルも普及しているまち
- 燃やすごみを他の何かに転換し活用できる世界
- 環境に負荷の少ない資源を活用した生活
- 再生可能エネルギーで電気を作る世界
- 異常気象の進行が抑えられ、地球温暖化の心配がないまち

かわさき環境フォーラム「みんなで描く2050年のみらい」



<実施概要>

- 1 実施日 2020年12月
- 2 対象者 イベント参加者（子供中心）
- 3 回答数 154件

<意見の一例>

- ・ごみがすくないみらい！
- ・空や川がきれいなまち
- ・ごみがひとつもおちてないせかい！
- ・お花でいっぱいの道がほしい
- ・家の屋根は全部太陽光パネル
- ・みんなで自然の電気を使っている
- ・全部の車が、ガソリンをつかわなくなる
- ・2050年車や電車がとぶのは当たり前の世界

川崎市ごみゼロカフェ ワークショップでの主な意見①

<令和5年度：12月、1月、3月の計3回> ※各回20名程度参加（子供・大人）

■分け方出し方で迷うポイント

- ・ 複合素材
- ・ 透明なトレイ
- ・ プラマークのない容器包装
- ・ アルミコーティングのもの
- ・ 汚れのついたもの、においの強いもの
- ・ リチウムイオン電池、ボタン電池等の電池類 など

■今後取り組みたい食品ロス削減

- ・ 地産地消の心掛け
- ・ ローリングストック
- ・ 皮、可食部まで食べる
- ・ 消費期限間近の安売り など

■プラ削減のため今日から実践できること

- ・ 量り売りのものを買う
- ・ 不要なものは手にしない
- ・ 詰め替え製品をもっと使う
- ・ ワンウェイプラ容器を避ける
- ・ PET ボトル飲料を極力買わない
- ・ コンビニのプラごみ回収方法の検討
- ・ 店頭回収ボックスをもっと積極的に利用
- ・ リデュースを重視し次にリユース、リサイクルは最後

■食品ロスの現状を知らせる広報のアイデア

- ・ テレビ
- ・ イベント
- ・ 実習を伴う講座
- ・ キャラクターの活用
- ・ チラシやネット、SNS
- ・ 市内食品事業者の講演
- ・ 市のweb ページ自体の宣伝

川崎市ごみゼロカフェ ワークショップでの主な意見②

<令和2年度：9月、11月、2月の計3回> ※各回15名程度参加（子供・大人）

■海を守るために今後できそうなことや提案

- ・ポイ捨て禁止条例
- ・企業のリーダーに現状を知らせる
- ・環境に良いものなど知識を身に付け行動
- ・プラ製品を意識して使用を最小限にする努力
- ・海岸清掃への参加、路上プラスチックごみの片づけ
- ・プラスチックフリーの店を増やすための消費行動
- ・マイバッグ、マイボトル・マイストローの持参
- ・圧縮できる生分解性ボトルの利用 など

■自分の行動に参考になったことや提案

- ・分別の実践
- ・先のことまで考えて買う
- ・老人会からみんなへの声かけ
- ・すぐに買うのではなくレンタル
- ・家族が分別しやすいような工夫
- ・水分量を配慮した生ごみの出し方
- ・企業の分別・リサイクルの取組みの横展開
- ・ツイッター、インスタなどで積極的に広報 など

出典：令和2年度ごみゼロカフェ活動報告書より抜粋・要約

<令和元年度：7月、8月、10月の計3回> ※各回20名程度参加（子供・大人）

■今後食品ロス対策としてできそうなこと

- ・野菜は丸ごと食べる
- ・調味料に開封日をつける
- ・作り置き
- ・頭を整理して買い物
- ・冷蔵庫の整理（7割に）
- ・食材に合わせた保存
- ・買いすぎない、常備食を作る、別メニューに作り替え
- ・ストックはなくなりそうになってから購入
- など

出典：令和元年度ごみゼロカフェ運営活動報告書より抜粋・要約

令和6年度事業系一般廃棄物の減量化・資源化推進説明会の主な意見

<実施概要>

- 1 実施日 2024年6月
- 2 対象者 市内事業系一般廃棄物多量・準多量排出事業者
- 3 回答数 88件

■今後、更なる減量化・資源化を進めるため、検討・予定していることはありますか

- ・ 生ごみの減量化 5件
- ・ ペーパーレス化 10件
- ・ 剪定枝のリサイクル 5件
- ・ 紙ごみの減量化、資源化 13件
- ・ 入居テナント等への分別徹底 9件
- ・ その他 7件（必要な量を最低限注文、廃プラ混入を防ぐなど）

■更なる減量化・資源化を進めるため、課題はありますか

- ・ 処理費用 21件
- ・ 社内調整 38件
- ・ 処理先等の情報不足 21件
- ・ その他 6件（お客様、スタッフ意識、古紙の扱い、紙使用量、情報共有、分別）